

令和5年度「市営バス・市営地下鉄のご利用状況に関するアンケート」 集計結果の活用状況

アンケートテーマの担当部署が、アンケート結果をどのように受け止めたのか、事業にどのように活用しているのかなど、集計結果の活用状況をご紹介します。

1 アンケート結果の事業等への活用状況

コロナ禍前、現在、今後の利用頻度について、通勤・通学の場合は、Q5、Q18 から市営バス・市営地下鉄ともコロナ禍で利用が減った人が利用者全体の約3割で、今後元に戻ると回答されたのはそのうち約半数の方だけにとどまっているため、回復は限定的となることが推察されました。

また、私事の場合は、Q11、Q24 から市営バス・市営地下鉄ともコロナ禍で利用が減った人が利用者全体の約2割程度で、そのうち約7割が今後は元に戻る見込みと回答していることから、今後事業を運営していくうえで良い傾向と捉えています。

今回のアンケートの結果については、今後の市営交通のお客様の利用傾向を把握するための参考として活用させていただきます。

2 アンケートを実施した感想

市営バス・市営地下鉄ともに、通勤で利用される方の数が多いと想定していましたが、本アンケートでは私事で利用される方の方が多かったのは意外でした。【市営バス/Q1：通勤・通学での利用が約15%、Q7：私事での利用が約51%】【市営地下鉄/Q13：通勤・通学での利用が約13%、Q20：私事での利用が約54%】

3 担当部署のeアンケートメンバーへのメッセージ

このたびはアンケートに御協力いただき誠にありがとうございました。市営バス、市営地下鉄それぞれの利用状況を把握するため、自然と質問が多岐に渡ることとなってしまう、回答に難儀する方もおられたものと推察します。

市営交通事業は、お客様からいただくご利用料金により事業の運営ができています。将来にわたって安全・安心な市営バス・市営地下鉄を提供し続けることを目指してまいりますので、今後ともご利用くださいますようお願いいたします。

担当：交通局経営管理課

ヨコハマ e アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。